USA's primary source for projector lamps
myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

PB8260

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

mplamps.co.jp
プロジェクターランプ業界最大級のオンラインショップ

プロジェクターランプの交換時ですか？

お使いのBenQ PB8260の交換用ランプは、現在入手可能です。



BenQ PB8260プロジェクターランプ

部品番号：59.J8101.CG1
モジュール付きのオリジナルランプ（取付準備完了）
180日間保証

21,930円から

コードをスキャンするかアクセスする

www.mplamps.co.jp/projector-lamps/Benq/PB8260.html

表示価格は、このページが作成された時の価格です。現在の価格はサイトをご確認ください。

BenQ

PB8260 デジタル プロジェクタ
インストレーションシリーズ
ユーザーズガイド

Welcome

著作権

Copyright 2005 by BenQ Corporation.All rights reserved. 本書のいかなる部分も、
BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、
化学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、
他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

免責

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、
商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明または保証もいたしません。
また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、
本書を改訂したり、本書の内容を随時修正する権利を有します。

*DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。
その他の商標については、それぞれの企業または組織が著作権を保有しています。

目次

安全にお使いいただくために 1

はじめに 5
- プロジェクタの特長 5
- 同梱品 6
- プロジェクタ外観ビュー 7
- 制御装置および機能 9

プロジェクタの配置 13
- 場所の選択 13
- 投写画像サイズを調整する 14

接続 16
- ワイヤレス接続 16
- ケーブル接続 16

操作 20
- 起動 20
- ワイヤレスプレゼンテーションの準備 21
- 入力信号の切り替え 21
- 画像の調整 22
- 拡大 [+]/ 縮小 [-] 24
- 画像の最適化 24
- レーザー ポインタの操作 25
- リモートマウス機能の使い方 25
- PIP (Picture In Picture) の操作 26
- 一時停止 27
- 音量の調整 27
- 画像を隠す 27
- 終了 28
- メニューの操作 29

メンテナンス 36
- ランプについて 38
- サービス情報 43

トラブルシューティング 44
- 一般的な問題と解決方法 44

仕様 45
- プロジェクタの仕様 45

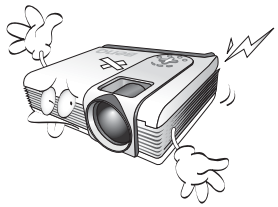
外形寸法 46
タイミング チャート 46
保証 48
限定保証 48
法規 49
FCC 規則 49
EEC 規則 49
MIC 規則 49

1 安全にお使いいただくために

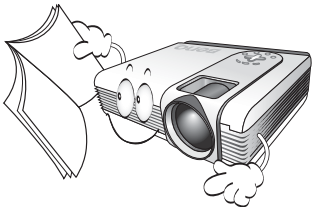
お使いの BenQ プロジェクタは、情報テクノロジ機器の最新の安全規格に適合するように設計され、テストされています。ただし、本装置を安全にご使用いただくために、このガイドおよび装置のマークに記載されている指示に従ってください。

注意

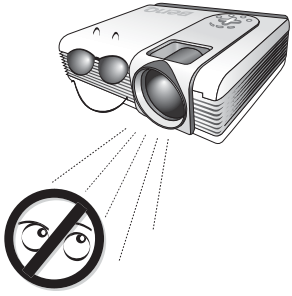
- 本装置のキャビネットは開けないでください。感電する恐れがあります。ユーザーが保守可能な内部部品はありません。



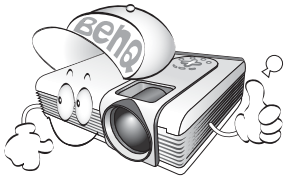
- プロジェクタを操作する前に、このユーザーズ ガイドをお読みください。このユーザーズ ガイドは、後で参照できるよう大切に保管してください。



- 動作中は、プロジェクタのレンズをのぞき込まないでください。光線が強力なので、視力障害を引き起こす恐れがあります。



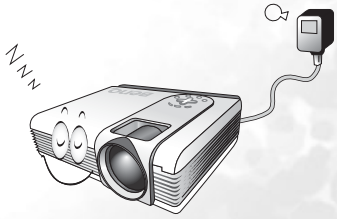
- 点検修理については、認定サービス担当者にお問い合わせください。



- プロジェクタのランプをオンにするときは、必ずレンズ シャッターを開くか、レンズ キャップを取り外してください。

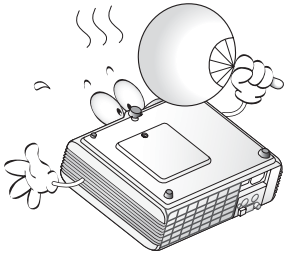


- 国によっては、電源電圧が一定していない場合もあります。プロジェクタは、電源が **100 ～ 240V** の電圧範囲のときに、安全に作動するように設計されていますが、停電や **±10V** のサージが発生すると故障する可能性があります。
  電源の電圧が変動したり電源供給が中断したりする地域では、電源安定器、サージ プロテクタ、または無停電電源装置 (UPS) にプロジェクタを接続することをお勧めします。

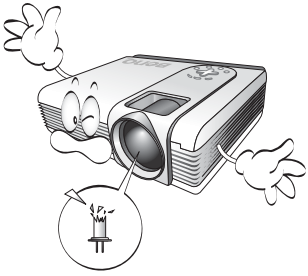


安全にお使いいただくために

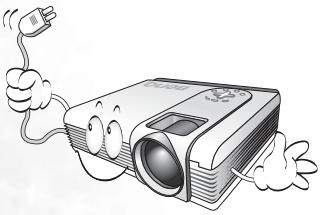
1. ランプは、動作中に非常に高温になります。ランプ部を取り外して交換する場合は、プロジェクタの電源を切ってから 45 分間ほど放置して、プロジェクタを常温に戻してください。



2. ランプは、定格寿命より長く使用しないでください。ごくまれですが、定格寿命より長く使用すると、ランプが破裂することがあります。



3. ランプ部や電子部品の交換は、必ずプロジェクタの電源プラグを抜いてから行ってください。



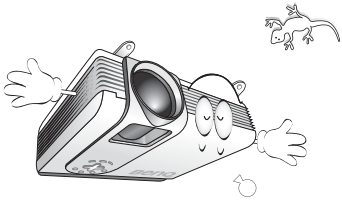
4. 本装置を、不安定なカート、スタンド、台の上に置かないでください。本装置が落下して、重大な損傷を受ける恐れがあります。



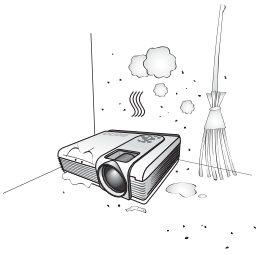
5. 感電を防ぐため、本装置を解体しないでください。点検または修理が必要な場合は、認定技術者にご依頼ください。組み立て方法に誤りがあると、本装置を使用するときにプロジェクタの誤作動や感電の恐れがあります。



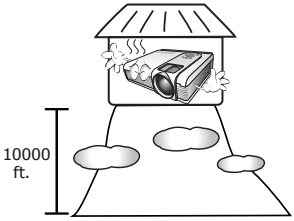
6. 本装置を天井に取り付けて、イメージを反転投写することができます。天井に取り付ける場合は、BenQ の天井取り付けキットを使用し、しっかりと固定してください。



7. 次の場所に装置を置かないでください。
   - 通気が不十分な場所または密閉されている場所。壁との間隔を **50cm** 以上空けて、プロジェクタの周辺の風通しをよくしてください。
   - 窓を締め切った車内など、非常に高温になる場所。
   - 非常に湿度が高い場所、ほこりの多い場所、タバコの煙にさらされる場所。このような場所に置くと、光学部品が汚れ、プロジェクタの寿命が短くなり、画像が暗くなります。



   - 火災報知器に近い場所。
   - 周辺温度が **40°C/104°F** を超える場所。高度が **3,000m (** 約 **10,000** フィート **)** を超える場所。

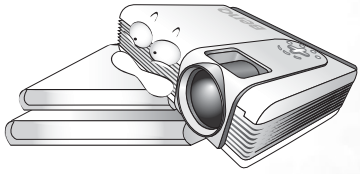


8. 通気孔をふさがないでください。
   - 本装置をブランケットなどの寝具類、または他の柔らかい物の上に置かないでください。
   - 本装置の上に布などをかぶせないでください。
   - プロジェクタの近くに可燃物を置かないでください。

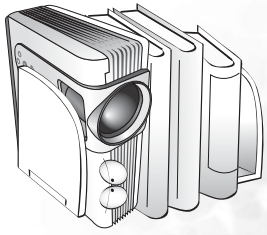


通気孔がふさがれると、装置の内部が過熱し、火災が発生することがあります。

9. 使用時は、必ず装置を水平な平面上に置いてください。
   - 左右の傾きが **10°**、または前後の傾きが **15°** を超える状態で使用しないでください。完全に水平になっていない状態で装置を使用すると、ランプが故障したり損傷することがあります。



10. 装置を縦向きにしないでください。



縦向きにすると、装置が倒れ、けがをしたり装置が損傷する恐れがあります。

安全にお使いいただくために (続き)	
11. 装置の上に乗ったり、物を置かないでください。  装置が物理的に損傷するだけでなく、事故やけがの原因になります。 12. プロジェクタが作動しているときに投写レンズの前に物を置くと、変形したり、火災の原因となります。ランプの電源を一時的に切るには、プロジェクタかリモコンの Blank (消画) ボタンを押してください。	13. プロジェクタの上または近くに液体を置かないでください。プロジェクタ内部に液体がこぼれると故障の原因になります。プロジェクタを濡らした場合は、電源コンセントからプロジェクタを外し、BenQ にご連絡の上プロジェクタの点検をご依頼ください。 

2 はじめに

プロジェクタの特長

このプロジェクタは、高性能な光学エンジン投写技術とユーザー フレンドリな設計を統合しており、高い信頼性と使いやすさを実現しています。

プロジェクタには次のような特長があります。

- ラップトップとワイヤレスで接続
- レーザー ポインタ / リモート マウス機能付きの、すべての操作が可能なリモコン
- 高品質の手動ズーム レンズ
- 最善の画質で表示するワンキー自動調整機能
- イメージの歪みを補正するデジタル キーストーン補正機能
- データ / ビデオ表示を調整可能なカラー バランス コントロール
- 超高輝度投写ランプ
- 1670 万色の表示能力
- 10 か国語のオンスクリーン メニュー：英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、中国語 (繁体字)、中国語 (簡体字)、日本語、韓国語
- 消費電力を節約する標準 / 省電力モードの切り替えが可能
- 高画質な AV イメージを提供する強力な AV 機能
- HDTV との互換性 (YPbPr)
- PC 入力端子 2 つおよび PC 出力端子 1 つ
- 交換式エア フィルタ

☞ **注意：投写イメージの明るさは、周辺光の状態およびコントラスト / 輝度設定によって変わります。**

☞ **注意：ランプは時間の経過に伴い暗くなります。これは製品の異常ではありません。**

同梱品

プロジェクタには、PC およびビデオ機器への接続に必要なケーブルが同梱されています。丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

同梱のアクセサリ類は日本仕様のものであり、本書の図とは異なる場合があります。



プロジェクタ



携帯用ソフト ケース



ワイヤレス カード



保証書



この CD **は、**Wireless Navigator **ユーザーガイドの内表紙に添付されています。**



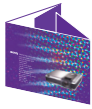
Wireless Navigator ユーザーガイドおよび Wireless Navigator Installation CD



ユーザーズガイド



ユーザーズガイド CD



クイックスタートガイド



リモコン



電池



VGA- コンポジットケーブル



RCA オーディオ / ビデオケーブル



VGA ケーブル



PC オーディオケーブル



USB ケーブル



D-Sub - DVI ケーブル



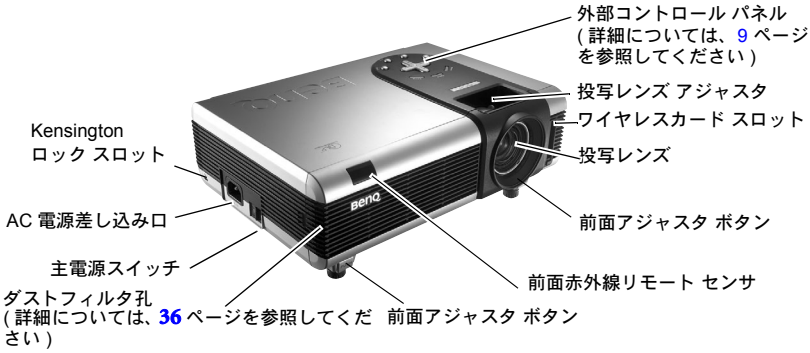
電源コード

別売のアクセサリ

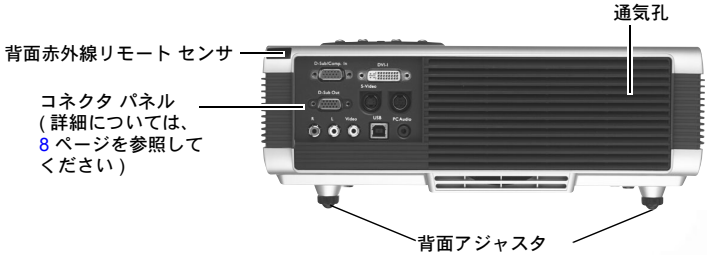
1. Macintosh アダプタ
2. 250W / 300W ランプ モジュール
3. 天井取り付けキット
4. Wireless Pro
5. Presentation Pro
6. DVI-I ケーブル
7. S ビデオ ケーブル
8. ダストフィルタ
9. 3-2 電源コンバータ

プロジェクタ外観ビュー

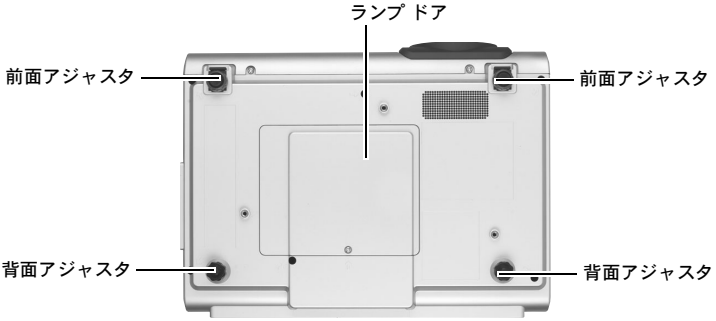
前面 / 上面ビュー



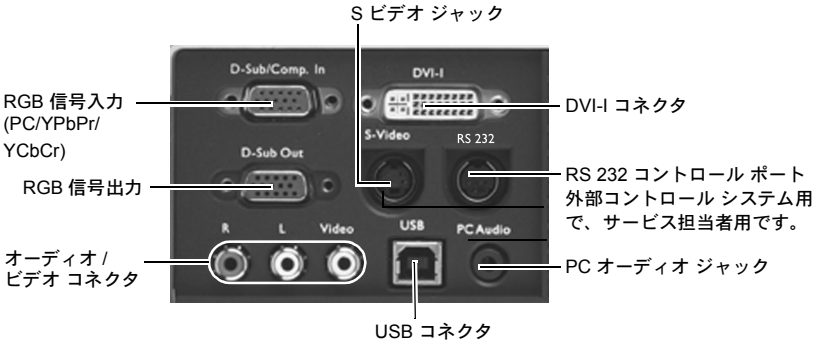
背面



底面ビュー

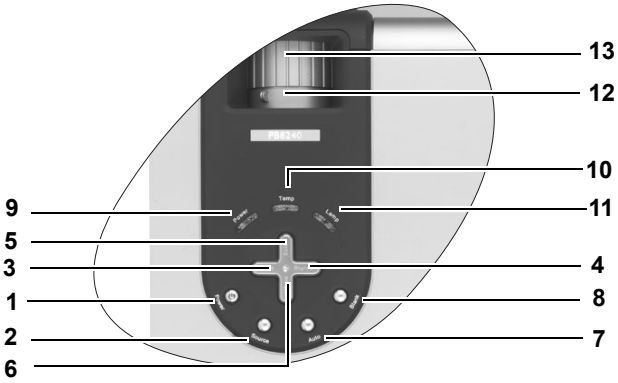


コネクタ パネル



制御装置および機能

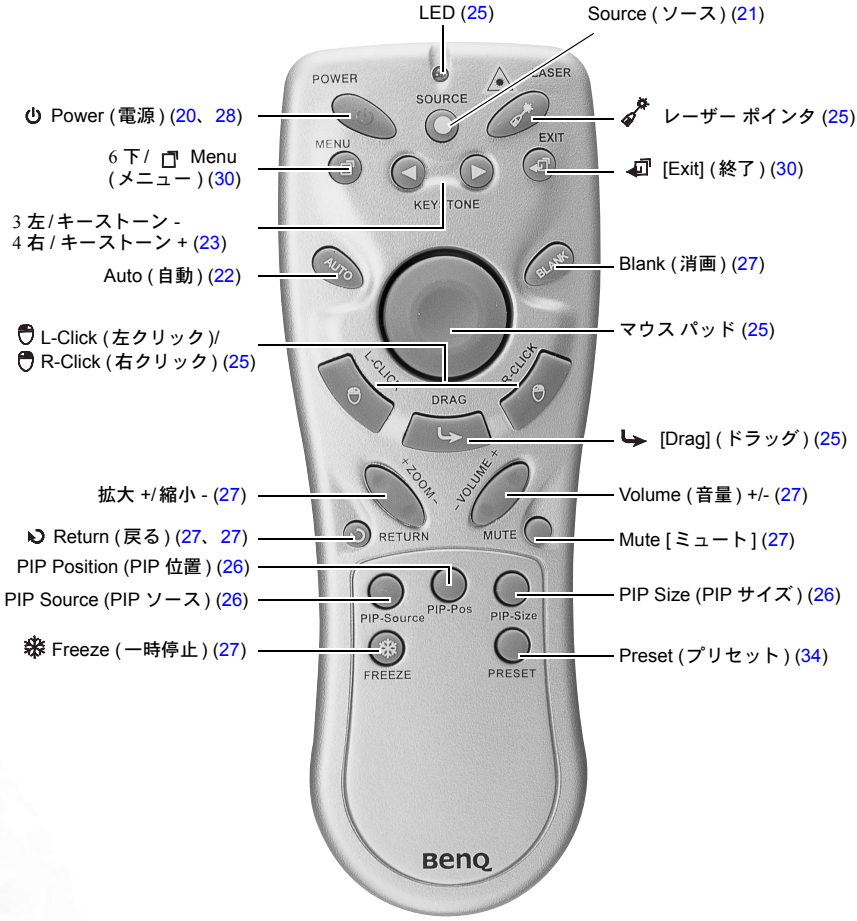
外部コントロール パネル



1. **Power（電源）（詳細については、20 ページを参照してください）**
   プロジェクタのオン / オフを切り替えます。
2. **Source（ソース）（詳細については、21 ページを参照してください）**
   入力信号を RGB、YPbPr、S-Video またはビデオの順に選択します。
3. **◂ Left（左）**
4. **Right（右）▸**
   スクリーン メニューを表示していない場合、3 および 4 は、**キーストーン** -/+ ホット キーとして機能します。**詳細については、23 ページを参照してください。**
5. **▴ Exit（終了）**
   終了し、メニューの設定を保存します。
6. **▾ Menu（メニュー）**
   オン スクリーン ディスプレイのコントロール メニューをオンにします。オン スクリーン メニューが有効な場合、3 ～ 6 のボタンを方向指示として使用し、メニュー項目の選択や調整を行います。**詳細については、30 ページを参照してください。**
7. **Auto（自動）（詳細については、22 ページを参照してください）**
   表示画像に最適なピクチャ タイミングを自動的に決定します。
8. **BLANK（消画）（詳細については、27 ページを参照してください）**
   スクリーンのイメージを消すために使用します。[Blank]（消画）をもう一度押すか、[Return]（戻る）を押すとイメージが元に戻ります。
9. **電源インジケータ ライト**
   プロジェクタの動作中に点灯または点滅します。
10. **温度警告ライト（詳細については、40 ページを参照してください）**
    プロジェクタの温度が異常に高くなると赤く点滅します。
11. **ランプ インジケータ ライト（詳細については、44 ページを参照してください）**
    ランプの状態を表示します。ランプに問題が発生した場合に点灯または点滅します。
12. **ズーム リング**
    画像のサイズを調整します。
13. **ピント リング**
    投写イメージの焦点を調整します。

リモコンの説明

前面ビュー

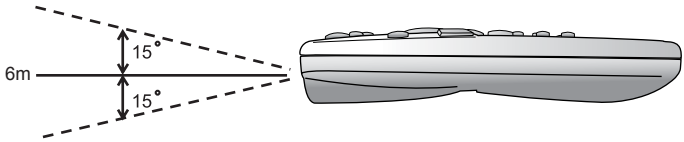


リモコン操作に関する注意 :

- **リモコンとプロジェクタの間に赤外線を遮断する障害物がないかどうかを確認します。**
- **リモコンが作動しなくなったり、投写距離が狭くなったりした場合は、バッテリーを交換してください。**
- **赤外線リモートセンサーを直射日光や蛍光灯に直接当てると、リモコンが作動しない場合があります。**
- **湿気が非常に高かったり、煙が立ち込めているなど、環境によってはリモコンが正しく作動しない場合があります。このような場合は、リモコンを再びメインユニットに向けて、操作を繰り返してください。**

リモコンの有効範囲

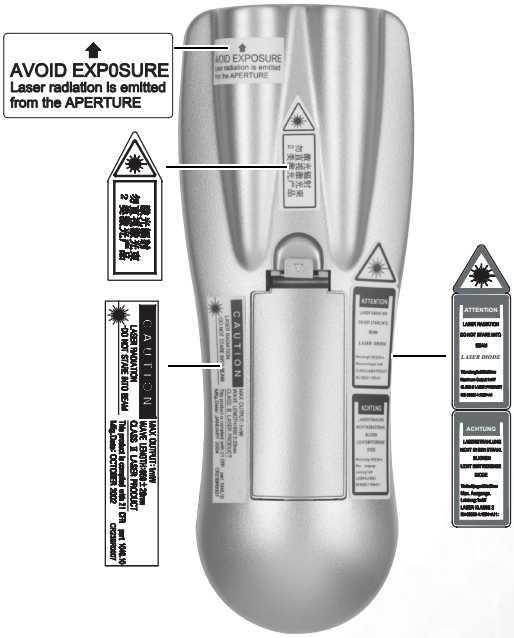
赤外線 (IR) リモコン センサは、プロジェクタの前面と背面にあります。リモコンを正しく機能させるには、プロジェクタの IR リモコン センサから 30 度以内でリモコンを使用する必要があります。リモコンとセンサの間の距離は、6 メートル (19.5 フィート) を超えないようにしてください。



背面

⚠ **レーザー光線は、可視光線です。また、レーザーを放射するには、**[Laser] **(レーザー) ボタンを押し続けます。**

⚠ **レーザー ポインタは玩具ではありません。子供が使用する場合は、保護者は十分に注意してください。**

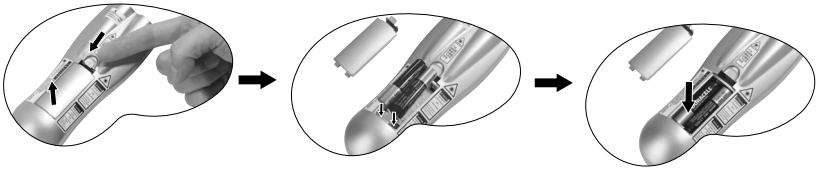


電池の取り付けと交換

❶ 電池収納部のふたを、表示されている方向に押して開けます。

❷ 図で示されているように、電池を収納部にセットします。

❸ ふたを電池収納部の上にかぶせ、所定の位置まで押し込みます。



⚠
- **高温多湿の場所に置かないでください。バッテリーは正しく装着しなければ、ケガや破損の原因となります。**
- **使用済みの電池は、同じタイプの電池か、メーカーが推奨する同等タイプの電池と交換してください。**
- **また、使用済みの電池はメーカーの指示に従って処分してください。**
- **電池は絶対に火に投げ込まないでください。**
- **電池が消耗したり、長時間リモコンを使用しない場合は、液体が漏れないように電池を外してください。**

3 プロジェクタの配置

場所の選択

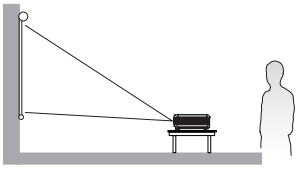
本機は次の 4 とおりの設置状態で使うことができます。

1. 床面前面
2. 天井前面
3. 床面背面　または
4. 天井背面

このワイヤレスプロジェクタでは、ケーブル接続を行う必要が一切ありません。したがって、プロジェクタをラップトップコンピュータから 20m の範囲で好きな場所に設置することができます。また別のコンピュータのプレゼンテーションに簡単に切り替えることも可能です。

I. 床面前面

プロジェクタを床面前面に選択します。この方法はプロジェクタをすばやく設定したいときに便利です。また持ち運びにも便利です。

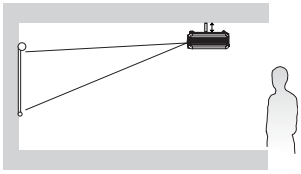


II. 天井前面

本機を天井前面に選択します。

この方法で設置する場合は、BenQ プロジェクタ天井取り付けキットをご購入ください。

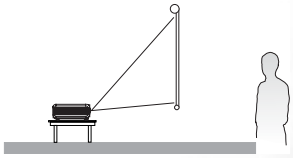
電源をオンにした後、**ソース** > **ミラー**メニューで 設定を行います。



III. 床面背面　または

本機をスクリーンの背後に床置きする場合に選択します。
専用の背面スクリーン投写が必要です。

電源をオンにした後、**ソース** > **ミラー**メニューで 設定を行います。

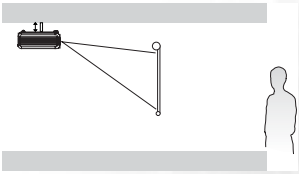


IV. 天井背面

本機をスクリーンの背後に天吊りする場合に選択します。

専用の背面スクリーン投写と BenQ プロジェクタ天井取り付けキットが必要です。

電源をオンにした後、**ソース** > **ミラー**メニューで 設定を行います。



プロジェクタをスクリーンより上または下に配置する場合、イメージがスクリーンの中心に表示されるようにプロジェクタを上下に傾ける必要があり、そうするとイメージの歪みが発生します。この場合は、キーストーン機能を使用して歪みを補正します。キーストーン補正については、23 ページを参照してください。

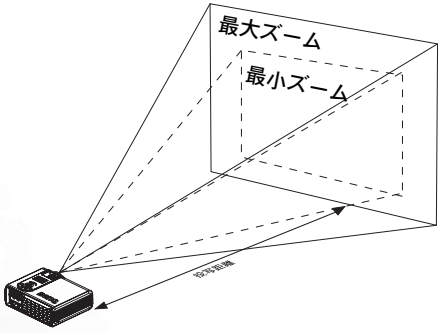
投写画像サイズを調整する

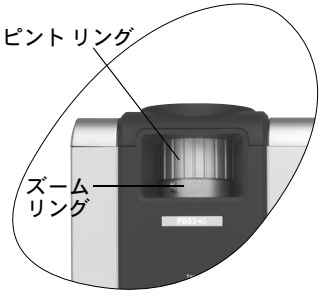
投写距離、ズーム設定、ビデオフォーマットにより投写画面サイズは変化します。16:9 と 4:3 の両サイズ用の表を用意しましたので、プロジェクタを設置する場所を決定する際参照してください。

1. スクリーンの縦横比が 16:9 か 4:3 のどちらであるか決定します。
2. プロジェクタを設置する部屋で有効な投写距離を決定します。最低投影距離と最大投影距離の間にプロジェクタを設置します。
3. アスペクト比 16:9 と 4:3 の 2 つの表がありますので、これらを参考にして本機を設置してください。[スクリーンからの距離] の行から適切な値を探してください。同じ列には、最大投写画像サイズと最小投写画像サイズが表示されています。
4. プロジェクタの高さを決定します。

たとえば、投写距離 2.5 メートル、スクリーンサイズ 4:3 の場合は、最大画像サイズは対角約 1.91 メートルになります。

プロジェクタをスクリーンより上または下に配置する場合、プロジェクタをオンにした後、イメージがスクリーンの中心に表示されるようにプロジェクタを上下に傾ける必要があり、そうするとイメージの歪みが発生します。この場合は、キーストーン機能を使用して歪みを補正します。キーストーン補正については、23 ページを参照してください。





スクリーン サイズ チャート (縦横比 4:3)

スクリーンからの距離		対角線の長さ			
		最小ズーム		最大ズーム	
フィート	インチ	フィート	インチ	フィート	インチ
4	48	2.49	29.9	3.05	36.6
6	72	3.73	44.8	4.57	54.9
8	96	4.98	59.7	6.10	73.2
10	120	6.22	74.7	7.62	91.4
12	144	7.47	89.6	9.14	109.7
14	168	8.71	104.5	10.67	128.0
16	192	9.96	119.5	12.19	146.3
18	216	11.20	134.4	13.72	164.6
20	240	12.45	149.4	15.24	182.9
22	264	13.69	164.3	16.76	201.2
24	288	14.94	179.2	18.29	219.5
26	312	16.18	194.2	19.81	237.7
28	336	17.42	209.1	21.34	256.0
30	360	18.67	224.0	22.86	274.3
32	384	19.91	239.0	24.38	292.6
34	408	21.16	253.9	25.91	310.9

スクリーンからの距離		対角線の長さ			
		最小ズーム		最大ズーム	
メートル	cm	メートル	cm	メートル	cm
1	100	0.62	62.2	0.76	76.2
1.5	150	0.93	93.3	1.14	114.3
2	200	1.24	124.5	1.52	152.4
2.5	250	1.56	155.6	1.91	190.5
3	300	1.87	186.7	2.29	228.6
3.5	350	2.18	217.8	2.67	266.7
4	400	2.49	248.9	3.05	304.8
4.5	450	2.80	280.0	3.43	342.9
5	500	3.11	311.2	3.81	381.0
5.5	550	3.42	342.3	4.19	419.1
6	600	3.73	373.4	4.57	457.2
6.5	650	4.04	404.5	4.95	495.3
7	700	4.36	435.6	5.33	533.4
7.5	750	4.67	466.7	5.72	571.5
8	800	4.98	497.8	6.10	609.6
8.5	850	5.40	539.8	6.48	647.7

スクリーン サイズ チャート (縦横比 16:9)

スクリーンからの距離		対角線の長さ			
		最小ズーム		最大ズーム	
フィート	インチ	フィート	インチ	フィート	インチ
4	48	2.29	27.5	2.80	33.6
6	72	3.44	41.3	4.20	50.4
8	96	4.59	55.1	5.60	67.2
10	120	5.74	68.8	7.00	84.0
12	144	6.88	82.6	8.40	100.8
14	168	8.03	96.4	9.80	117.6
16	192	9.18	110.1	11.20	134.4
18	216	10.32	123.9	12.60	151.2
20	240	11.47	137.7	14.00	167.9
22	264	12.62	151.4	15.39	184.7
24	288	13.77	165.2	16.79	201.5
26	312	14.91	179.0	18.19	218.3
28	336	16.06	192.7	19.59	235.1
30	360	17.21	206.5	20.99	251.9
32	384	18.35	220.3	22.39	268.7

スクリーンからの距離		対角線の長さ			
		最小ズーム		最大ズーム	
メートル	cm	メートル	cm	メートル	cm
1	100	0.57	57.4	0.70	70.0
1.5	150	0.86	86.0	1.05	105.0
2	200	1.15	114.7	1.40	140.0
2.5	250	1.43	143.4	1.75	179.4
3	300	1.72	172.1	2.10	209.9
3.5	350	2.01	200.8	2.45	244.9
4	400	2.29	229.4	2.80	279.9
4.5	450	2.58	258.1	3.15	314.9
5	500	2.87	286.8	3.50	349.9
5.5	550	3.15	315.5	3.85	384.9
6	600	3.44	344.1	4.20	419.9
6.5	650	3.37	372.8	4.55	454.9
7	700	4.02	401.5	4.90	489.8
7.5	750	4.30	430.2	5.25	524.8
8	800	4.59	458.9	5.60	559.8

☞ **焦点距離は** 1.5 ～ 8　**メートル** (6 ～ 32　**フィート**) **の範囲を推奨します。**

光学部品の偏差のため、これらの数字には 3 ～ 5% **の公差があります。**

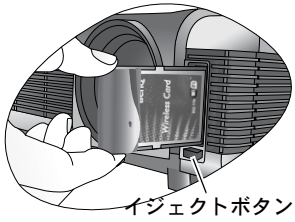
*1m = 3.28 **フィート**、1 **フィート** = 0.305m、1m = 100cm、1 **フィート** = 12 **インチ**

4 接続

ワイヤレス接続

このプロジェクタを使用するには、この方法が最も便利です。プレゼンテーションを行うには、プロジェクタにワイヤレスカードを挿入し、ラップトップコンピュータに必要なソフトウェアをインストールする必要があります。

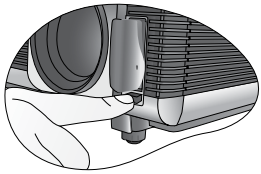
ワイヤレスでプロジェクタを使用するには：



1. ワイヤレスカードとプロジェクタの手前右側にある専用スロットを合わせます。
2. ワイヤレスカードをプロジェクタに挿入します。カードを完全に挿入すると、イジェクトボタンが飛び出します。カードはしっかりと挿入してください。



3. 同梱されている Navigator ソフトウェア CD を使って、コンピュータに Wirelss Navigator をインストールします。ソフトウェアをインストールする手順と、コンピュータの操作方法については、Wireless Navigator のユーザーガイドを参照してください。
4. ワイヤレスカードを取り出すには、ワイヤレスカードスロットの下にあるボタンを押します。



ワイヤレスカードについてのご注意：

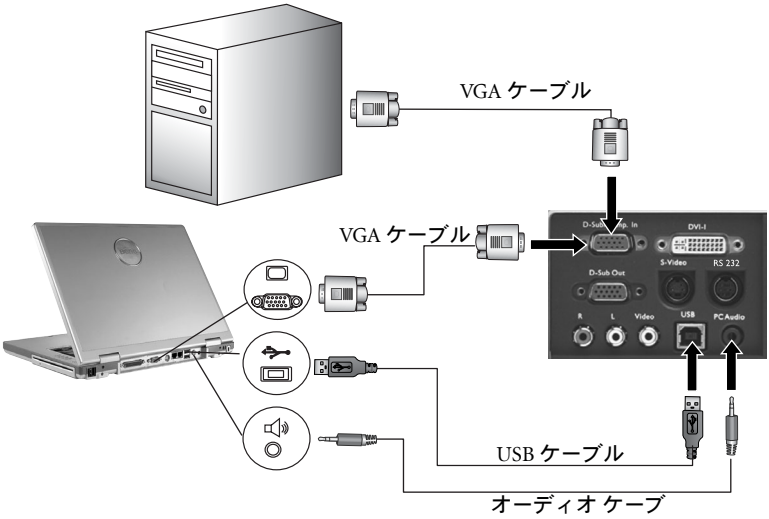
- **ワイヤレスカードは IEEE802.11/802.11b 対応 CF ワイヤレス LAN アダプタです。これは Windows 98SE/ME/2000/XP 環境におけるワイヤレスネットワークを完全にサポートしています。**
- **ワイヤレスカードは BenQ PB8260 プロジェクタにしか対応していません。他の装置との互換性については、弊社は保証いたしません。**
- **ネットワークの有効範囲は、室内で半径 20m 以内です。**
- **カード内部のソフトウェアを修正するなど、お客様自身で補修を行わないでください。**

ケーブル接続

信号ソースをプロジェクタに接続する際には、次の点を確認してください。

1. 接続を行う前にすべての機器の電源をオフにします。
2. 各ソースに正しい信号ケーブルを使用します。
3. ケーブルがしっかり差し込まれていることを確認します。

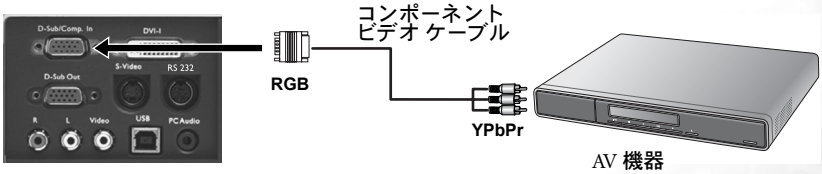
ラップトップ コンピュータまたはデスクトップ コンピュータとの接続



☞ **注意：**

- **Macintosh コンピュータに接続するには、Mac アダプタ (別売のアクセサリ) が必要です。**
- **マウス機能によってリモコン操作を行わない限り、USB ケーブルは不要です。**
- **多くのラップトップでは、プロジェクタを接続すると外付けビデオポートはオンになりません。通常は <FN> + <F3> や CRT/LCD の組み合わせによって、外付けディスプレイをオン / オフにすることができます。CRT/LCD 機能キーまたは、ラップトップ上でモニタ記号が示された機能キーの場所を確認します。<FN> とその機能キーを同時に押します。ラップトップのキーの組み合わせについては、ラップトップの説明書をお読みください。**

コンポーネント ビデオ入力との接続



プロジェクタは、さまざまな高精細度 TV 表示モードで表示することができます。表示ソースには次のものがあります。

- デジタル VHS (D-VHS) プレーヤ
- DVD プレーヤ
- パラボラ アンテナ HDTV 受信機
- デジタル TV チューナー

これらのソースの大半は、アナログ ビデオ出力や標準 VGA 出力を備えているか、YPbPr (デフォルト) フォーマットで出力します。

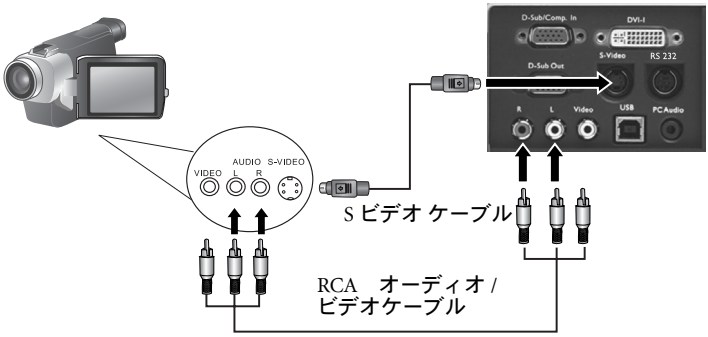
プロジェクタは、コンポーネント ビデオ コネクタを介して HDTV データを受信することができます。HDTV イメージを表示するには、プロジェクタに付属している コンポーネント ビデオ ケーブルを使用してください。

HDTV 機能では、次の規格がサポートされています。

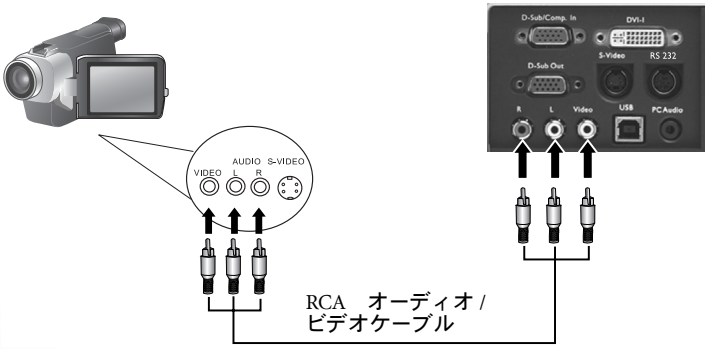
- 480i
- 576i
- 720p (50/60Hz)
- 480p
- 576p
- 1080i (50/60Hz)

ビデオまたは *S* ビデオ機器との接続

S ビデオ機器



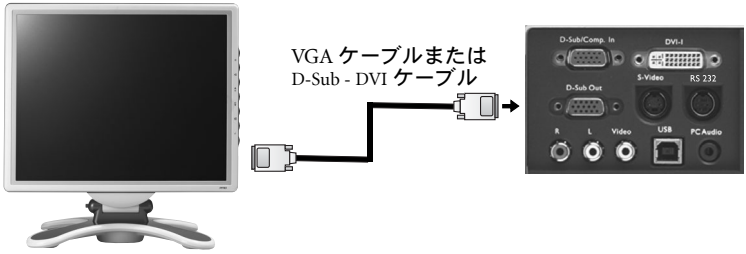
ビデオ機器または VCR



☞ **電源をオンにしても選択したビデオ イメージが表示されず、正しいビデオ ソースが選択されている場合、ビデオ ソースの電源がオンになっていて正しく動作していることを確認します。また、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。**

ディスプレイ機器との接続

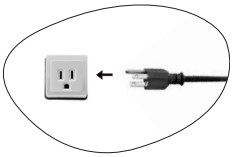
ご自分のプレゼンテーションをスクリーンだけでなく、モニタにも表示して近くで画面を確認したい場合、プロジェクタの RGB 信号出力ポートと外部モニタを VGA ケーブルまたは D-Sub - DVI ケーブルで接続できます。



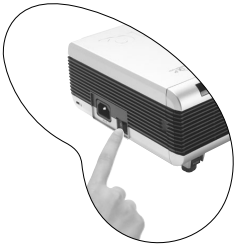
4 操作

起動

1. 接続されているすべての機器の電源をオンにします。
2. 電源コードをプロジェクタとコンセントに差し込みます。電源スイッチをオンにします。

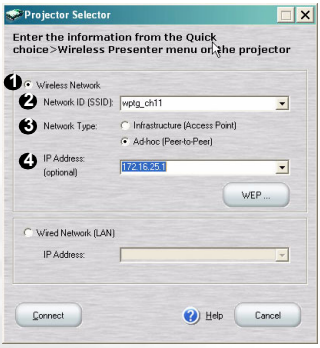


3. 主電源スイッチをオンにします。[Power]（電源）インジケータ ライトがオレンジ色に点灯します。
4. レンズキャップを外してください。キャップを付けたままにしておくと、過熱によりキャップが変形する場合があります。

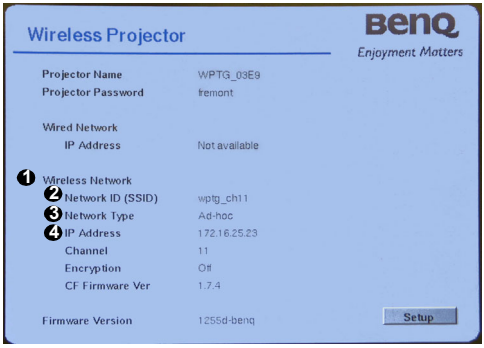


5. リモコンまたはプロジェクタの**電源**を 2 秒間押したままにして装置を起動します。装置がオンになっているときには、[Power]（電源）インジケータ ライトが緑色に点滅します。
6. 起動処理には、電源を押してから約 30 秒かかります。起動処理の後半に、デフォルトの BenQ ロゴが表示されます。
7. 下図のように、プロジェクタのブート画面が表示されます。同梱の BenQ ワイヤレスカードがプロジェクタに挿入され、LED が緑色に点灯している場合は、Network ID (SSID)、Network Type、IP Address などのページに表示される情報を使って、後からラップトップ PC やデスクトップ PC を設定してください。





コンピュータの「プロジェクタ選択」ページ



プロジェクタのブート画面

8. 他の信号入力から画像を投射するのであれば、プロジェクタかリモコンで **[Source] (ソース) を押してください。プロジェクタのスクリーンの右下隅に、スキャンされているの入力ソースが表示されます。入力信号が検出されるまで、検索が続けられます。**
9. ソースの選択についての詳細は、下の「入力信号の切り替え」を参照してください。

☞ **入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクタの動作範囲を超えた場合、**[Out of Range] (**範囲外) というメッセージが消画スクリーンに表示されます。**

ワイヤレスプレゼンテーションの準備

1. **ラップトップコンピュータにワイヤレス ナビゲーターがインストールされていますか？**
   はい、次のステップに進んでください。
   いいえ、本機に同梱されているワイヤレス ナビゲーターインストール CD を使ってワイヤレス ナビゲーターをインストールしてください。詳しくは、ワイヤレス ナビゲーターユーザーガイドの**第 2 章 「ソフトウェアのインストールと設定」**をお読みください。
2. **ワイヤレスカードを挿入した状態で (LED 点灯) プロジェクタを起動します。プロジェクタの立ち上げ画面を確認してください。**
3. **ラップトップコンピュータのワイヤレス接続が作動していることを確認します。**
4. **ラップトップコンピュータでネットワーク設定を行います。詳しくは、ワイヤレス ナビゲーターユーザーガイドの第 3 章のパート 1 ：「ワイヤレス設定」をお読みください。**
5. **複数のユーザーが共同でプレゼンテーションを行う方法については、ワイヤレス ナビゲーターユーザーガイドの第 4 章：「共同プレゼンテーション」をお読みください。**
6. **ソフトウェアの操作方法については、ワイヤレス ナビゲーターのユーザーガイドをご参照ください。**

入力信号の切り替え

順次入力ソースを選択するには、プロジェクタのコントロール パネルまたはリモコンの [Source] (ソース) キーを押します。プロジェクタが入力シグナルを検索している場合、ソースの選択に数秒間かかることがあります。選択したソースは、3 秒間スクリーンの右下隅に表示されます。



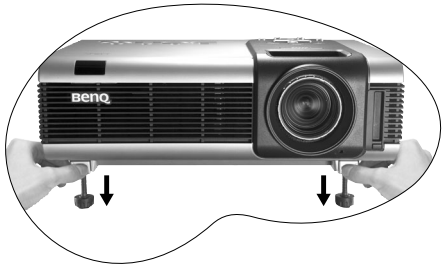
画像の調整

高さ調整

プロジェクタがスクリーンに対して真正面になるように、平坦な安定した場所に設置してください。

プロジェクタには、クイック リリース アジャスタ フットが 2 つ備え付けられています。これらのアジャスタを使って、イメージの高さと投写角度を調整します。プロジェクタを調整するには、次の手順にしたがってください。

1. プロジェクタを持ち上げ、アジャスタ ボタンを押してアジャスタを解放します。アジャスタが所定の位置に下りて固定されます。



☞ **ランプが点灯しているときには絶対にレンズを覗かないでください。ランプからは強い光が発されており、目を傷つける場合があります。**

2. 背面アジャスタ フットを回して、投写角度を微調整します。

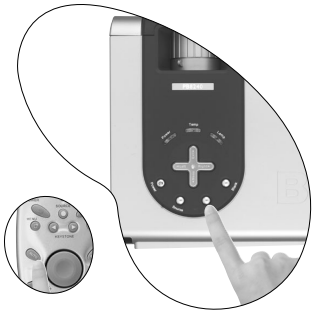
アジャスタフットを元に戻すには、アジャスタボタンをもう一度押してください。



☞ **スクリーンとプロジェクタが互いに垂直でない場合、投写イメージは縦方向に台形になります。これを補正するには、プロジェクタのコントロール パネルまたはリモコンのディスプレイ メニューでキーストーンの値を調整します。**

画像の自動調整

場合によっては、画質を最適化する必要が生じることもあります。手動で最適化するには、プロジェクタのコントロール パネルまたはリモコンの [Auto]（**自動**）を押します。組み込みのインテリジェント自動調整機能により周波数およびクロックの値が再調整され、3 秒以内に最適な画質が得られます。

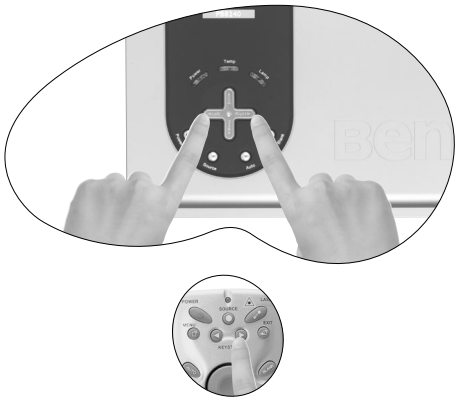


☞ [Auto]（**自動**）**が機能している間、スクリーンは消画の状態になります。**

キーストーンの補正

キーストーンとは、投写イメージの上部または下部がはっきり分かる程度に広がってしまう状態のことです。プロジェクタがスクリーンに対して垂直でない場合に発生します。

これを補正するには、プロジェクタの高さの調整とは別に、次のいずれかの手順に従い、手動で補正する必要があります。



A. プロジェクタのコントロールパネルにある **[Left]（左）/[Right]（右）** （ホットキー）を押し、[Keystone]（キーストーン）というラベルの付いたステータスバーを表示します。イメージの上部のキーストーンを補正する場合は、**[Right]（右）** を押します。イメージの下部のキーストーンを補正する場合は、**[Left]（左）**を押します。

B. リモコンの **キーストーン / キーストーン** を押し、[Keystone]（キーストーン）というラベルの付いたステータスバーを表示します。イメージの上部のキーストーンを補正する場合は、**キーストーン** を押します。イメージの下部のキーストーンを補正する場合は、**キーストーン**を押します。

C. プロジェクタまたはリモコンの **[Menu]（メニュー）**キーを押します。  **[Display]（ディスプレイ）**から **[Keystone]（キーストーン）**へと移動し、プロジェクタの **[Left]（左）/[Right]（右）** またはリモコンの **キーストーン / キーストーン** を押して、キーストーンの値を調整します。

以下に例を示します。



1. プロジェクタの [Right]（右）を押します。または
2. リモコンのキーストーン を押すかまたは
3. [Display]（ディスプレイ）から [Keystone]（キーストーン）へと移動したら、プロジェクタの [Right]（右）またはリモコンのキーストーン を押します。



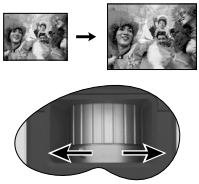


1. プロジェクタの [Left]（左）を押します。または
2. リモコンの キーストーンを押すかまたは
3. [Picture]（画像）の [Keystone]（キーストーン）メニューが表示されている場合は、プロジェクタの [Left]（左）またはリモコンの キーストーンを押します。

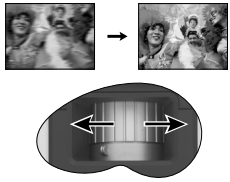


画像サイズと明瞭さの微調整

1. 投写されたイメージのサイズを調整するには、ズームリングを使用します。



2. 次にピントリングを使って画像のシャープネスを調整します。



スクリーンサイズの表は、15 ページを参照してください。

拡大 [+]/ 縮小 [-]

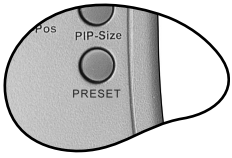
[Zoom]（ズーム）の [+] ボタンを押すと、画面中央を中心にイメージが拡大されます。[+] ボタンを繰り返し押すと、イメージが徐々に拡大します。必要に応じて、マウス パッドを使用してイメージを移動させます。**[Zoom]（ズーム）の [-]** ボタンを押すと、イメージが縮小します。[-] ボタンを繰り返し押すと、イメージは徐々に縮小し、イメージを元のサイズにまで縮小できます。**[Return]（戻る）**を押してもイメージのサイズが元に戻ります。



画像の最適化

イメージを最適化するにはリモコンかオンスクリーンメニューを使用します。オンスクリーンメニューの操作方法については、29 ページを参照してください。

1. プロジェクタ、リモコン、または  **コントロール** > **プリセットモード**でプリセットモードを選択します。それぞれの信号に対して 4 つのモードがあります。



PC/ DVI 信号入力

- **プレゼンテーション　モード**：プレゼンテーションに向いています。このモードでは輝度が強調されます。
- **ビビッド　モード**：ゲームに最適です。彩度と輝度のバランスが良い点が特長です。
- **ビデオ　モード**：自然な色でイメージが表示されるので、映画を観るのに適しています。
- **省電力　モード**：システムのノイズを減らすためにはこのモードを使用します。消費電力が 20% 節減されます。ライトも暗くなるためランプの寿命も長くなります。

YPbPr/ YCbCr/ S ビデオ / ビデオ信号入力

- **ゲームモード**：明るいリビング ルームでビデオ ゲームをする場合に適しています。
- **ビデオ　モード**：高めの色温度で TV 映画を観る場合に適しています。
- **シネマ　モード**：低めの色温度で映画を観る場合に適しています。
- **省電力　モード**：システムのノイズを減らすためにはこのモードを使用します。消費電力が 20% 節減されます。ライトも暗くなるためランプの寿命も長くなります。

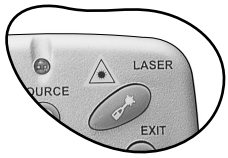
2. DVI-A または DVI-D イメージの輝度およびコントラストの値は、

[表示]メニューかリモコンを使って調整することができます。またコンポーネントビデオ、ビデオ、コンポジットビデオまたは S ビデオ入力信号を表示しながら、輝度、コントラスト、色 § 色合いなどの設定を調整することもできます。

画像調整によっては、特定の入力ポートが使用中の場合にのみ有効となります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。各信号タイプで有効な機能については、36 ページを参照してください。

レーザー ポインタの操作

レーザー ポインタは、専門家向けのプレゼンテーション ツールです。押すと赤色の光を発し、LED インジケータが緑色に点灯します。レーザー光を発射する窓を覗き込んだり、自分や他の人にレーザー光線を照射したりしないでください。ご使用前に、リモコン背面の警告メッセージを参照してください。



リモートマウス機能の使い方

これらの機能をお使いになる前に、本機に同梱されている USB ケーブルを使ってプロジェクタの USB ポートと、PC またはラップトップコンピュータの USB ポートを接続します。



マウス パッドは、PC またはノートブック PC のマウスと同等の機能を備えています。マウスパッドは自在に動かして、カーソルを操作することができます。

投影画像を**拡大、縮小**するには、**マウスパッド**を使って表示エリアで動いてください。

[L-Click]**（左クリック）**および [R-Click]**（右クリック）**は、コンピュータのマウスの右ボタン / 左ボタンと同じように動作します。

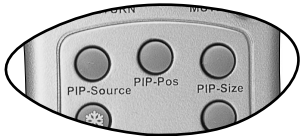
オブジェクトをスクリーンにドラッグアンドドロップするには、

1. 動かしたいオブジェクトにカーソルを合わせます。
2. **[Drag]（ドラッグ）**を押します。
3. **マウスパッド**を使ってオブジェクトをドラッグします。**[L-Click]** を押してオブジェクトをドロップします。

4. オブジェクトグループを移動させるには、
   i. カーソルをその場所に合わせます。**[Drag] (ドラッグ)** を押します。
   ii. 選択したいオブジェクトに**マウスパッド**を移動させます。**[L-Click]** を押してオブジェクトをドロップします。
   iii. 選択したグループにカーソルを合わせます。再び **[Drag] (ドラッグ)** を押します。
   iv. **マウスパッド**を使ってオブジェクトをドラッグします。**[L-Click]** を押してオブジェクトをドロップします。

PIP (Picture In Picture) の操作

本機は 2 台の入力ソースからの信号を同時に表示することができます。この機能を効率的に活用することによって、プレゼンテーション効果を飛躍的に高めることができます。



これらの機能は PC からソースを入力し、PIP ソースがビデオか S ビデオの場合にのみ使用することができます。

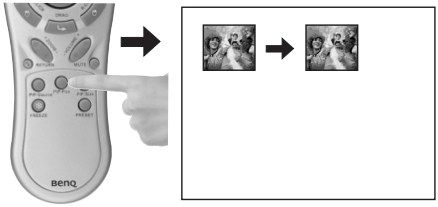
リモコン操作

1. PC とビデオまたは S ビデオ信号がプロジェクタに正しく接続されていることを確認します。

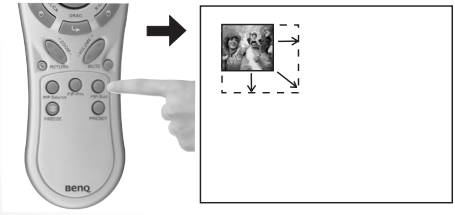
2. スクリーンに PC を投射します。

3. リモコンの **[PIP-Source] (PIP ソース)** ボタンを押して、PIP フレームを表示します。もう一度 **[PIP-Source] (PIP ソース)** ボタンを押して、PIP 画像が表示されるまでお待ちください。

4. PIP 画像の位置を調整するには、適切に表示されるまで繰り返し **[PIP-Pos] (PIP 位置)** ボタンを押してください。



5. PIP 画像をリサイズするには、繰り返し **[PIP-Size] (PIP サイズ)** ボタンを押してください。サイズは大、中、小の 3 つのオプションの中から選択することができます。



オンスクリーンメニューからは、他の機能も選択できます。

オンスクリーンメニューの操作

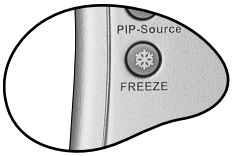
1. プロジェクタかリモコンの **[Menu]（メニュー）**を押します。

2. プロジェクタの ◀ **左 / 右** ▶、またはリモコンの ◀ **キーストーン / キーストーン** ▶ を使って **PIP** メニューを選択します。

3. 詳細については、35 ページを参照してください。

一時停止

[Freeze]（一時停止）を押すと、イメージが一時停止します。スクリーンの右下隅に アイコンが表示されます。一時停止を解除するには、**[Freeze]（一時停止）**ボタンをもう一度押すか、**[Return]（戻る）**または **[Source]（ソース）**（表示中に入力ソースを切り替えた場合）を押します。



スクリーン上でイメージが静止しても、ビデオやその他の装置で映像は流れつづけています。接続した装置に有効なオーディオが含まれている場合は、画像が静止しても音声は聞くことができます。

詳細については、34 ページを参照してください。

音量の調整

[Volume]（音量）の [+]/[-] を押して、音量を調整します。また、**[Mute]（ミュート）**を押すと音が消えます。

最も適切な音質に近づけるには、**（ソース）**メニューで高音と低音のレベルを調整してください。

プロジェクタとオーディオ出力装置が適切なオーディオケーブルで接続されていることを確認してください。



画像を隠す

[Blank]（消画）を使用するとスクリーンのイメージが消えるため、聴衆の関心をすべて講演者に向けることができます。**[Blank]（消画）**をもう一度押すとイメージが元に戻ります。イメージが非表示になると、スクリーンの右下隅に、**[BLANK]（消画）**と表示されます。

消画時間の長さは、**コントロール** > **設定** > **消画時間** メニューで設定します。

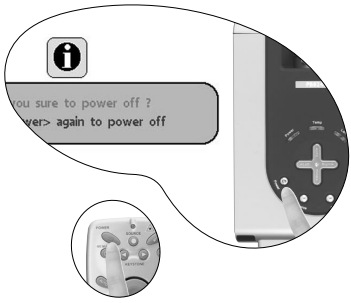


投射中に投写レンズを他の物体で覆わないでください。その物体が過熱し、火災の原因となり危険です。



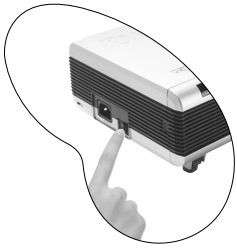
終了

1. **電源**を押すと、警告メッセージが表示されます。プロジェクタの電源をオフにするには、再度**電源**ボタンを押します。
2. **[Power]（電源）インジケータ ライト**がオレンジ色に点滅してランプが消灯した後、プロジェクタのランプを冷却するために、ファンが約 90 秒間作動し続けます。



ランプを保護するため、冷却プロセスの間は、プロジェクタはいかなるコマンドにも反応しません。

3. 主電源スイッチをオフにします。



注意：

- **プロジェクタ終了手順が完了する前、または 90 秒間の冷却プロセスの間は、電源コードを抜かないでください。**
- **プロジェクタの終了方法が不適切だと、数時間以内にプロジェクタを再起動しようとすると、ランプを保護するため、数分間ファンが動作して冷却します。プロジェクタを起動するには、ファンが停止した後にもう一度、電源を押します。**

メニューの操作

メニュー システム

OSD メニューは選択した信号の種類によって変わります。

	受信信号のタイプにより使用可能な機能 ...			
サブメニュー	アナログ RGB/ DVI-A	DVI-D/ ワイヤレス	YPbPr (480p/ 576p/720p/ 1080i)	YCbCr (480i/ 576i)/ S ビデオ / ビデオ
 ディスプレイ	キーストーン 輝度 コントラスト 位相 水平サイズ ランプ時間	キーストーン 輝度 コントラスト ランプ時間	キーストーン 輝度 コントラスト 位相 水平サイズ ランプ時間	キーストーン 輝度 コントラスト 色 色合い ランプ時間
 イメージ	自動サイズ調整 水平位置 垂直位置 色温度 情報	自動サイズ調整 色温度 情報	比率 水平位置 垂直位置 色 色合い 色温度	比率 システム シャープネス 色温度 情報
 ソース	ミラー ソース 音量 トレブル バス ミュート			
 コントロール	言語 OSD -- OSD 位置、OSD 時間 設定 -- ソース スキャン、キーストーン ホールド、ミラー ホールド、消画時間、自動電源オフ、ユーザー ロゴ プリセット モード -- (PC / DVI / ワイヤレス信号入力のみ) プレゼンテーション モード、ビビッド モード、ビデオ モード、省電力モード (YPbPr/YCbCr/S ビデオ / ビデオ信号入力) ゲーム モード、ビデオ モード、シネマ モード、省電力モード リセット 高地			
 PIP	メイン ページ PIP ソース PIP サイズ PIP 位置 水平位置 垂直位置 追加オプション		サブ ページ 輝度 コントラスト 色 色合い シャープネス システム	

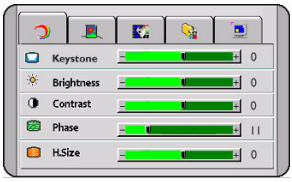
メニューの使用方法

プロジェクタは、On-Screen Display (OSD) メニューを備えており、各種の調整や設定が行えます。

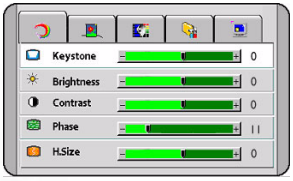
メニューには、10 種類の言語が用意されています (**詳細については、34 ページを参照してください**)。

次の例では、キーストーンの調整を説明しています。

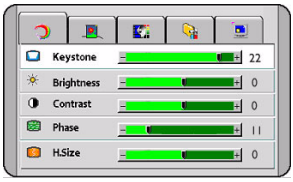
1. プロジェクタまたはリモコンの [Menu] (**メニュー**) キーを押して、オンスクリーン メニューをオンにします。



2. プロジェクタの ◀ [Left] (**左**)/ [Right] (**右**) ▶ またはリモコンの ◀ **キーストーン / キーストーン** ▶ を使用して、[Display] (**ディスプレイ**) メニューを選択します。
3. プロジェクタの ▲ [Exit] (**終了**) または ▼ [Menu] (**メニュー**) またはリモコンの ▼ **下** / [Menu] (**メニュー**) を使用して [Keystone] (**キーストーン**) を選択します。



4. プロジェクタの ◀ [Left] (**左**)/[Right] (**右**) ▶ またはリモコンの ◀ **キーストーン / キーストーン** ▶ を押して、キーストーンの値を調整します。

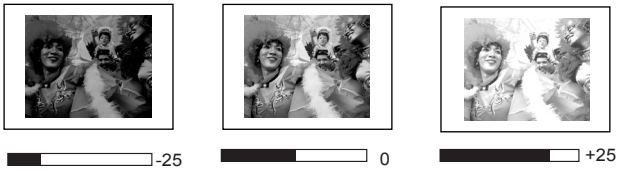


5. プロジェクタの ▲ [Exit] (**終了**) またはリモコンの [Exit] (**終了**) を 2 回 * 押して終了し、設定を保存します。

*1 **回目にはサブメニューに戻り、2 回目にオンスクリーン メニューが閉じます。**

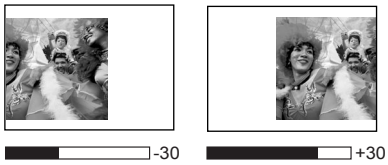
1. ディスプレイ メニュー

画像調整によっては、特定の入力ポートが使用中の場合にのみ有効となります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。

機能	説明
キーストーン	イメージのキーストーンを補正します。詳細については、23 ページを参照してください。
輝度	イメージの輝度を調整します。値が大きいほどイメージの輝度が増加します。設定値が小さいほどイメージは暗くなります。このコントロールを調整すると、イメージの黒い領域が黒く表示されるため、黒い領域の詳細が見えるようになります。 
コントラスト	イメージの明るさと暗さの差を調整します。値が大きいほどコントラストが増加します。 
位相	この機能を使用すると、クロック位相を調整して、イメージの歪みを減少させることができます。 
水平サイズ	イメージの幅を調整します。
ランプ時間	ランプの使用時間数を表示します。
色	イメージの色強度を増減します。
色合い	イメージの色調を調整します。値が大きいほど赤みがかったイメージになります。値が小さいほど緑がかったイメージになります。

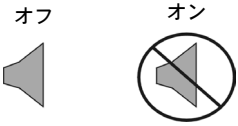
2. イメージ メニュー

☞ **画像調整によっては、特定の入力ポートが使用中の場合にのみ有効となります。調整できない項目はスクリーンには表示されません。**

機能	説明
自動サイズ調整	スクリーンに最適なサイズにイメージを調整します。 1. オン 2. オフ 3. 16:9
水平位置	投写イメージの水平位置を調整します。 
垂直位置	投写イメージの垂直位置を調整します。 
色温度	白色を調整します。値が大きいほど赤みがかった白のイメージになります。値が小さいほど青みがかった白のイメージになります。*
情報	現在の解像度を表示します。
比率	次のいずれかの縦横比を選択できます。 1. 4 : 3 2. 16 : 9
色	イメージの色強度を増減します。
色合い	イメージの色調を調整します。値が大きいほど赤みがかったイメージ になります。値が小さいほど緑がかったイメージになります。
システム	ビデオ入力システムの形式を表示します。 1.NTSC 2.PAL 3.SECAM 4.YUV
シャープネス	イメージがシャープまたはソフトになるように調整します。

＊色温度について：
用途に応じて「白」とみなされる色合いが多数存在します。白色を表すためによく使用される方法の 1 つに「色温度」があります。色温度の低い白色は赤みがかった白で表示されます。色温度の高い白色は青みがかって表示されます。

3. ソース メニュー

機能	説明
ミラー	プロジェクタは、天井またはスクリーンの背後に設置したり、1 枚あるいは複数のミラーを使用して設置することができます。プロジェクタを天井に設置する必要がある場合は、販売店に連絡して、天井取り付け用ブラケット (別売のアクセサリ) をお求めください。詳細については、13 ページを参照してください。
ソース	現在の信号ソースを表示します。
音量	音量を調整します。 
トレブル	トレブルを調整します (-5 ～ 5) 。 
バス	バスを調整します (-5 ～ 5) 。 
ミュート	

4. コントロール メニュー

機能	説明
言語	OSD コントロール メニューの言語を設定します。 3/4 キーを使用して言語 (英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ロシア語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語) を選択します。
OSD	OSD 位置 OSD の表示位置を選択します。
	OSD 時間 ボタンを押してからの OSD の表示時間を設定します。5 ～ 60 秒の範囲で設定できます。
設定	ソース スキャン プロジェクタで自動的に入力信号を検索するかどうかを設定します。ソーススキャンがオンの場合、プロジェクタは信号を取得するまで入力信号を検索します。この機能が有効になっていなければ、最後に使用した入力信号が選択されます。
	キーストーン ホールド 選択すると、プロジェクタを再起動しても、前回のキーストーン補正値が保持されます。
	ミラー ホールド 選択すると、プロジェクタを再起動しても、前回のミラー補正値が保持されます。
	消画時間 消画が有効になってからプロジェクタの電源が自動的にオフになるまでの時間を設定します。
	自動電源オフ 入力信号が検出されない場合に、プロジェクタの電源が自動的にオフになるまでの時間を設定します。
	ユーザー ロゴ プロジェクタ起動時に表示されるロゴ画面を、ユーザーが選択することができます。デフォルト (BenQ ロゴ)、黒画面、青画面の 3 つのモードが使用できます。
プリセット モード	プリセット モードを利用すると、ご使用のプログラム タイプに最適なプロジェクタのイメージを設定することができます。 詳細については、24 ページを参照してください。
リセット	すべての設定を工場出荷時の値に戻します。

高地	高地や高温地など、極限環境用のモードです。海抜 900 メートル以上、または 40 ℃以上の環境では高地モードをご使用になることをお薦めします。 高地モードで操作を行うと、システムの性能を維持するために冷却ファンが回転速度を速めるため、操作ノイズが高くなる場合があります。 高温、高地以外の極限環境で本製品を使用すると、高温から BenQ プロジェクタを保護するために設計された自動シャットダウン機能が作動する場合があります。このような場合は、高温モードに切り替えてみてください。高温モードでも対応できない場合もありますのでご了承ください。

5.PIP メニュー

本機は 2 台の入力ソースからの信号を同時に表示することができます。この機能を効率的に活用することによって、プレゼンテーション効果を飛躍的に高めることができます。

これらの機能は PC からソースを入力し、PIP ソースがビデオか S ビデオの場合にのみ使用することができます。。

機能	説明
PIP ソース	PIP のソースを選択します。プロジェクターが適切な信号を自動的に検索するので、**自動**は推奨された PIP ソースです。
PIP サイズ	◀ / ▶ キーを使用して、オフ、小、中、大のオプションのいずれかを選択できます。 **[オフ]** を選択すると、PIP 画像が閉じられます。 ☞ **PC 信号の解像度が 1280x1024 (SXGA) の場合、PIP サイズに大を選択しても、中に縮小されます。**
PIP 位置	PIP の位置を選択します。
水平位置	PIP イメージの水平位置を調整します。
垂直位置	PIP イメージの垂直位置を調整します。
追加オプション	◀ / ▶ キーを使用して、他の PIP 機能 (輝度、コントラスト、色、色合い、シャープネス、システムを調整する機能) を選択できます。
輝度	PIP イメージの輝度を調整します。
コントラスト	PIP イメージの明るさと暗さの差を調整します。値が大きいほどコントラストが増加します。
色	PIP イメージの色強度を増減します。
色合い	PIP イメージの色調を調整します。値が大きいほど赤みがかったイメージになります。値が小さいほど緑がかったイメージになります。
シャープネス	イメージがシャープまたはソフトになるように調整します。
システム	ビデオ入力システムの形式が NTSC、PAL、SECAM、YUV のいずれかを表示します。

5 メンテナンス

ご使用のプロジェクタは、ほとんどメンテナンスの必要がありません。過熱からプロジェクタを保護するために、レンズとダストフィルタは常に清潔に保つようにしてください。

ランプとエア フィルタを除き、プロジェクタの部品は一切取り外さないでください。ランプ以外の部品の交換が必要な場合は、販売店にご相談ください。

レンズのクリーニング

表面の汚れやほこりが付いていたら、レンズをクリーニングします。

- 圧縮空気スプレーを使用してほこりを取り除きます。
- 汚れやしみが付いた場合は、レンズ クリーニング ペーパーまたはレンズ クリーナで湿らせた柔らかい布でレンズの表面を軽く拭きます。

☞ **レンズは絶対に研磨剤でこすらないでください。**

プロジェクタ ケースのクリーニング

ケースをクリーニングする前に、プロジェクタの電源をオフにして、電源コードを抜きます。

- 汚れやほこりを取り除くには、乾燥し柔らかい、けば立ちのない布でふきます。
- 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭いてください。

☞ **ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤を使用しないでください。こうした薬剤を使用するとケースを傷める場合があります。**

ダストフィルタのお手入れと交換

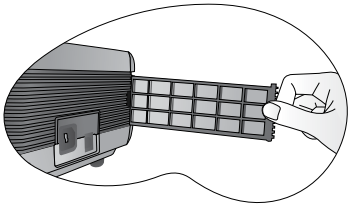
ダストフィルタは定期的に掃除する必要があります。フィルタをクリーニングしないと、ほこりでつまり、適切な換気ができなくなります。この場合、プロジェクタの過熱と誤作動の原因になります。

右図のような警告メッセージが 300 時間ごとに 10 秒間スクリーンに表示され、フィルタのクリーニングを促します。

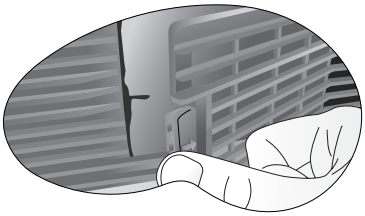


1. プロジェクタの電源をオフにし、ファンが停止するまで待ちます。
2. プロジェクタのケーブルを外します。
3. 片方のダストフィルタカバーを右側から開き、もう片方をプロジェクタの手前から開いてください。

前面から：

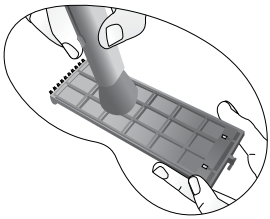


右側から：



4. コンピュータやその他のオフィス機器用の小型掃除機でフィルタをクリーニングします。または、柔らかいブラシ (清潔な絵筆など) を使ってほこりを丁寧に払います。

   ダストフィルタの汚れがひどい場合や、フィルタが壊れているときには、交換してください。修理については、販売店にお尋ねになるか、BenQ ホームページ（www.BenQ.com）をご覧ください。





5. 両方のカバーを閉め、カチッとはまるまで押します。

   カバーの取り付けが不十分だと、3 分ごとにスクリーンにメッセージが表示されます。プロジェクタを操作しない状態が続くと、10 分後に自動的に電源が切れます。この場合、カバーを閉じ直して、もう一度電源を入れてください。

プロジェクタの保管

長期間プロジェクタを保管する必要がある場合、次の手順に従ってください。

- 保管場所の温度と湿度が、プロジェクタの推奨範囲内であることを確認します。範囲については、マニュアルの仕様ページを参照するか、販売店にお問い合わせください。
- アジャスタ フットを格納します。
- リモコンから電池を取り外します。
- プロジェクタを元の梱包または同等の梱包にしまいます。

プロジェクタの移動

プロジェクタを搬送するときは、元の梱包または同等の梱包で行うことを推奨します。ご自分で運ぶ場合は、添付の携帯用ソフト ケースを使用してください。

ランプについて

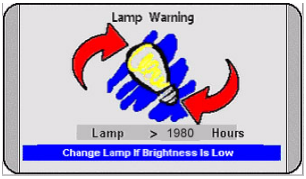
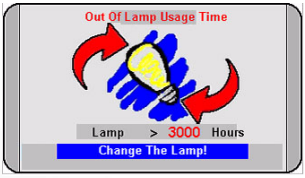
ランプの使用と交換

[Lamp] (ランプ) インジケータが赤に点灯した場合、またはランプの交換時期であることを示すメッセージが表示された場合は、新しいランプを取り付けるか、お買い上げの販売店にご相談ください。古いランプを使用すると、プロジェクタの誤動作の原因となり、ランプが破裂することもあります。

詳細については、41 ページを参照してください。

ランプの温度が異常に高くなると、[Lamp] (ランプ) インジケータ ライトおよび温度警告ライトが点灯します。ダストフィルタが汚れていないかどうかを確認する前に、電源を切り、プロジェクタを冷却してください (36ページ)。このようにしても電源をオンにしたときに [Lamp] (ランプ) インジケータまたは [Temp] (温度) インジケータが点灯する場合は、販売店にご相談ください。

次のランプ警告が表示されたら、ランプを交換してください。

メッセージ	状態
	ランプの動作時間が 1980 時間を超えました。動作を最適化するために、新しいランプを取り付けてください。
	ランプの動作時間が 2980 時間を超えました。あと 20 時間で電源がオフになります。新しいランプに交換しておくと、ランプが寿命で切れる不都合を避けられます。
	ランプの動作時間が 3000 時間を超えました。メッセージはスクリーン中央で点滅し、[Lamp] (ランプ) インジケータが 40 秒間赤く点灯してから電源がオフになります。

ランプ切れの時間の警告は、通常モードでの稼動時間で計算しています。プロジェクタを省電力モードで使用すると、ランプの使用可能時間は 3000 時間になります。プロジェクタを通常モードと省電力モードの両方で使用する場合、省電力モードを使用している間は、ランプの稼動時間を 66% の割合で計算します。この場合、ランプ切れ時間の警告は、省電力モードの使用率に応じて、2000 ～ 3000 時間の間に発生します。

ランプの交換

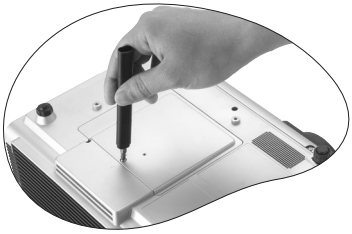
⚠ • 感電を防ぐため、ランプを交換する前には必ずプロジェクタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。

- 重度のやけどを負う危険を防ぐため、ランプを交換する前に、最低でも **45** 分間はプロジェクタを冷却してください。
- 割れて鋭くなったランプのガラス片を取り除く場合は、指をけがしたり、内部部品を破損したりしないように、十分注意してください。
- 指のけがや、レンズに触れることによる画質の劣化を避けるため、ランプを取り外すときに空のランプ ケースには触れないでください。
- このランプの中には水銀が入っています。ランプの処分は、地元の有害廃棄物規制条例に従って、正しい方法で行ってください。

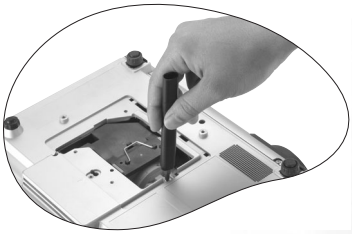
手順 1. 電源をオフにして、プロジェクタをコンセントから抜きます。

手順 2. 机の上のものを他の場所に移し、机の上に柔らかいものを置いてプロジェクタを保護してください。

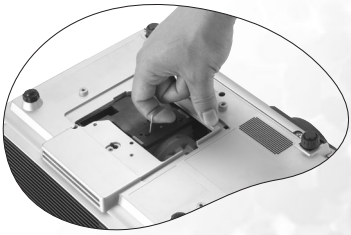
手順 3. プロジェクタを裏返します。ネジを緩めて、ランプ カバーを取り外します。
ランプが高温になっている場合は、やけどを防ぐためにランプを **45** 分間放置して常温に戻してください。



手順 4. ランプをプロジェクタに固定しているネジを緩めます。ネジを完全に緩めなければ、ランプを外すことはできません。新しいランプを固定するときに必要ですので、ネジは紛失しないように保管しておいてください。



手順 5. ハンドルを持ち上げて立てます。
ハンドルを使って、ゆっくりとランプをプロジェクタから引き抜きます。



☞ • 急激に引っ張るとランプが割れ、ガラスの破片がプロジェクタ内に散乱します。

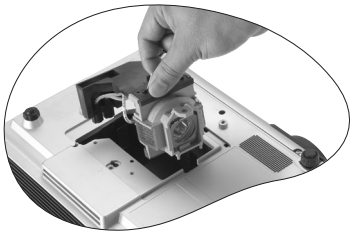
- 取り出したランプは、水のかかる場所、子供の手が届く場所、可燃物の付近には置かないでください。
- ランプを取り外した後は、プロジェクタ内に手を入れないでください。内部の光学部品に手を触れると、投写イメージの色が不均一になり歪む場合があります。

手順 6. 新しいランプを挿入します。ハドルが完全にフラットな状態になっており、ロックされていることを確認してください。ネジをしっかりと締めてください。

- **ネジの締め方がゆるいと接触が悪くなり、故障の原因になる場合があります。**
- **ネジを締め過ぎないでください。**

手順 7. ランプ カバーを再度取り付け、ネジを締めます。

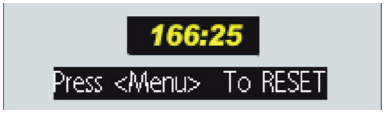
手順 8. ステップ 7 表示したい信号ソースと接続します（接続の仕方については 16 ページ、電源の入れ方については 20 ページを参照してください）。



- ランプカバーを外したまま、電源を入れないでください。ランプを置き換えた後は、ランプの作動合計時間をリセットしてください。
- ランプを交換していない場合はリセットしないでください (ランプが破損する恐れがあります)。

手順 9. ランプ カウンタのリセット

1. プロジェクタの [Exit] (終了) を 3 秒間押し、ランプの合計動作時間を表示します。



2. プロジェクタまたはリモコンの [Menu] (メニュー) を押し、ランプ時間タイマにアクセスします。調整方法を示すメッセージが表示されます。



3. ◀ または ▶ を押してランプ時間をリセットし、[Exit] (終了) を押して終了します。

温度について

温度警告ライトが点灯している場合は、以下の問題が発生していることを示しています。

1. 内部温度が異常に高くなっています。
2. ダストフィルタが汚れています 。
3. ファンが動作していません。

プロジェクタの電源を切り、ダストフィルタの掃除を行ってください。

詳細については、**41** ページの「インジケータ」を参照してください。

インジケータ

意味

1. 消画 - : ライト消灯
2.  : ライト点滅
3.  : ライト点灯
4. O : オレンジ色
5. R : 赤色
6. G : 緑色

LED			状態と説明
Power (電源)	Temp (温度)	ランプ	
電源の状況			
			プロジェクタが電源コンセントに接続されました。
	-	-	スタンバイ モードです。
	-	-	(1) 通常の冷却プロセスを経過せずに異常終了したため、プロジェクタの冷却に 90 秒必要です。または (2) 電源をオフにした後、プロジェクタの冷却に 90 秒必要です。
	-	-	起動中、[Power] (電源) インジケータ ライトが点滅します。
	-	-	プロジェクタは通常動作中です。
ランプの状況			
-	-	-	ランプ カウンタに問題が発生しました。
-	-		ランプの使用時間が 2000 時間または 3000 時間 (省電力モードの場合) を超えたことを示しています。直ちに新しいランプに交換してください。
-	-		ランプが正しく取り付けられていないか、破損しています。販売店にお問い合わせください。

温度の状況			
-	R	-	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
-	R	G	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
-	R	G	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
G	R	-	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
G	R	G	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
G	R	G	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
O	R	-	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
O	R	G	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
O	R	G	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。
R	G	R	プロジェクタが自動的に終了しました。プロジェクタを再起動しようとしても、プロジェクタは再度終了します。販売店にお問い合わせください。

サービス情報

アクセサリ (標準パッケージに付属しています)

説明	部品番号
電源コード (米国用)	27.01818.000
電源コード (ヨーロッパ用)	27.82718.281
電源コード (イギリス用)	27.01018.000
信号ケーブル	50.J0508.503
ビデオ ケーブル	50.J1303.501
S ビデオ ケーブル	50.72920.011
RCA R/W オーディオ ケーブル	50.J1311.001
PC - PC オーディオ ケーブル	50.L4302.501
携帯用ソフト ケース	47.J8104.001
コンポーネント ビデオ ケーブル	50.J2401.001
USB マウス ケーブル	50.73213.501
リモコン	56.26J95.001
3-2 電源変換プラグ	22.91008.001
D-Sub - DVI ケーブル	50.J2103.501

別売のアクセサリ (標準パッケージに付属していません)

説明	部品番号
Mac アダプタ (切り替え可能)	20.20118.A15
300W ランプ モジュール	60.J8106.001
250W ランプ モジュール	59.J9421.CG1
天井取り付けキット	60.J7683.001
Wireless Pro (ヨーロッパ用)	59.J8201.001
Wireless Pro (米国用)	59.J8201.002
Presentation Pro.	60.J2278.001
S ビデオ ケーブル	50.72920.011
ダストフィルタ	60.J8178.001
3-2 電源変換プラグ	22.91007.001

部品の注文方法と情報の入手方法

製品情報、製品サポート、サービス情報、アクセサリの注文については、BenQ Corporation の Web サイト http://www.BenQ.com を参照してください。

6 トラブルシューティング

一般的な問題と解決方法

? プロジェクタの電源がオンにならない

原因	対応
電源コードから電源が来ていません。	電源コードをプロジェクタの電源コード ソケットとコンセントに差し込みます。コンセントにスイッチがある場合には、スイッチがオンになっていることを確認します。
冷却プロセスの間にプロジェクタの電源をオンにしようとしています。	冷却プロセスが完了するまでお待ちください。

? 画像が映らない

原因	対応
ビデオ ソースがオンになっていないか正しく接続されていません。	ビデオ ソースをオンにし、信号ケーブルが正しく接続されていることを確認します。
プロジェクタが正しく入力ソース機器に接続されていません。	接続を確認します。
入力信号が正しく選択されていません。	プロジェクタまたはリモコンの [Source] (ソース) キーで正しい入力信号を選択します。
レンズ キャップが装着されたままです。	レンズ キャップを取り外します。

? イメージがぼやける

原因	対応
投写レンズの焦点が合っていません。	ピント リングで焦点を合わせます。
プロジェクタとスクリーンの位置が正しく合っていません。	投写角度および方向、また必要であれば装置の高さを調整します。
レンズ キャップが装着されたままです。	レンズ キャップを取り外します。

? リモコンが機能しない

原因	対応
電池が切れています。	両方の電池を新しい電池と交換します。
リモコンとプロジェクタの間に障害物があります。	障害物を取り除きます。
プロジェクタからの距離が遠すぎます。	プロジェクタから 6 メートル (19.5 フィート) 以内の場所に立ちます。

7 仕様

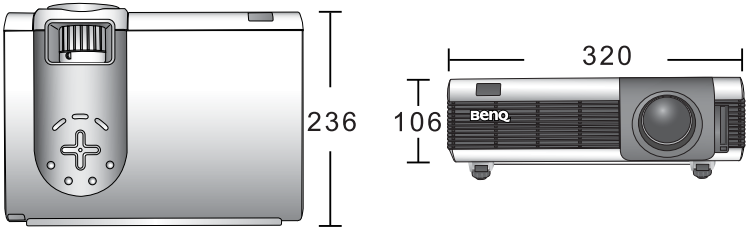
プロジェクタの仕様

技術仕様

仕様はすべて予告なしに変更されることがあります。

全般	
製品名	デジタル プロジェクタ
モデル名	PB8260　　1024 x 768 XGA
光学仕様	
表示システム	1-CHIP DMD
レンズ F/ 番号	F/2.4
ランプ	PB8260 300W ランプ
電気仕様	
電源	AC100 ～ 240V、4.5A、50/60 Hz (自動)
消費電力	PB8260 410W (最大)
機械仕様	
外形寸法	320mm (幅) × 106mm (高さ) × 236mm (奥行き)
重量	8.4 lbs (3.8 Kg)
入力端子	
コンピュータ入力	
RGB 入力	D-sub 15-pin (メス)
DVI-I 入力	
ビデオ信号入力	
S ビデオ	ミニ DIN 4-pin ポート× 1
ビデオ	RCA ジャック x 1
HDTV 入力	D-sub ⇔ YPbPr RCA ジャック × 3、(RGB 入力経由)
オーディオ信号入力	
オーディオ 1	ミニ ジャック ステレオ
出力	
USB マウス コネクタ	A/B シリーズ × 1
スピーカ	1 ワット × 2
RGB	
オーディオ L/R	
Control (コントロール)	
RS-232C	9-pin × 1
環境要件	
動作時の気温	0 °C ～ 40 °C (海抜 0m)
動作時の相対湿度	10% ～ 90% (結露しないこと)
動作時の高度	気温 30 °C の場合 1830 メートル (約 6,000 フィート) 気温 23 °C の場合 1830 ~ 3050 メートル (約 6,000 ～ 10,000 フィート)

8 外形寸法



単位：mm

タイミング チャート

PC (DVI-I とワイヤレスを含む) 入力用にサポートされているタイミング

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)	モード
720 × 400	37.927	85.039	35.500	720x400_85
640 × 480	31.469	59.940	25.175	VGA_60
	37.861	72.809	31.500	VGA_72
	37.500	75.000	31.500	VGA_75
	43.269	85.008	36.000	VGA_85
800 × 600	37.879	60.317	40.000	SVGA_60
	48.077	72.188	50.000	SVGA_72
	46.875	75.000	49.500	SVGA_75
	53.674	85.061	56.250	SVGA_85
1024 × 768	48.363	60.004	65.000	XGA_60
	56.476	70.069	75.000	XGA_70
	60.023	75.029	78.750	XGA_75
	68.667	84.997	94.500	XGA_85
1280 × 1024	63.981	60.020	108.000	SXGA3_60

☞* 他のモードはワイヤレス入力に対応していません。

- **S** ビデオプロジェクタのネイティブ解像度である **1024 x 768** を使用すると、最高品質の画像が得られます。

YPbPr 入力用にサポートされているタイミング

信号フォーマット	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480i(525i)@60Hz	15.73	59.94
480p(525p)@60Hz	31.47	59.94
576i(625i)@50Hz	15.63	50.00
576p(625p)@50Hz	31.25	50.00
720p(750p)@60Hz	45.00	60.00
720p(750p)@50Hz	37.50	50.00
1080i(1125i)@60Hz	33.75	60.00
1080i(1125i)@50Hz	28.13	50.00

ビデオおよび S ビデオ入力用にサポートされているタイミング

ビデオ モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル周波数 (MHz)
NTSC	15.73	60	3.58
PAL	15.63	50	4.43
SECAM	15.63	50	4.25 または 4.41
PAL-M	15.73	60	3.58
PAL-N	15.63	50	3.58
PAL-60	15.73	60	4.43
NTSC4.43	15.73	60	4.43

保証

限定保証

BenQ は、本製品が正常に使用および保管される場合に限り、本製品の材料および製造上の瑕疵がないことを保証します。

保証を受ける際には、購入日の証明が必要となります。保証期間中に本製品に瑕疵があることが判明した場合、BenQ の全責任と、お客様に対する全面的な補償は、瑕疵のある部品の交換 (工賃を含む) に限られます。保証サービスを受ける場合は、製品を購入した販売店に直ちに連絡してください。

重要：お客様が BenQ の書面による指示に従わずに製品を使用した場合、上記の保証は適用されません。特に、周囲の湿度 (10% ～ 90%)、気温 (0°C ～ 40°C)、高度 (3,000m、10,000 フィート以下) などの環境要件と、ほこりの多い場所での使用を避けることについては厳守してください。この保証により、お客様には特定の法的権利が与えられます。また、在住している国によっては、お客様にその他の権利が与えられることもあります。

その他の情報については、BenQ の保証書を参照してください。

⑩ 法規

FCC 規則

クラス B：本装置は無線周波数エネルギーを発生、使用、放射するため、指示に従わずに設置および使用した場合、無線通信に有害な干渉を起こす恐れがあります。ただし、特定の設置方法において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置が原因で、ラジオおよびテレビの受信に有害な干渉が発生している場合 (装置の電源を切ることによって判別できます)、必要に応じて次の対策を施し、干渉を防止してください。

— 受信アンテナの向きや位置を変える。

— 本装置と受信機の距離を離す。

— 受信機が接続されている回路と異なる回路のコンセントに本装置を接続する。

— 販売代理店やラジオ / テレビ関係の熟練技術者に相談する。

EEC 規則

本装置は、EMC (Electric Magnetic Compatibility：電磁的両立性) に関する ECC 指令 89/336/EEC に適合することが試験の結果確認されています。

MIC 規則

B クラス装置 (家庭用情報 / 電気通信装置)

本装置は家庭用として EMC 登録を受けているため、本製品は住居地域を含む任意の地域で使用できます。